

Dirty guys



kiyohiko yashima

目次

さまよえるロッキー山脈	1
ヴォルフ・チェルハの謎	3
最後のベルリン	5
賞金稼ぎの旅	8
ビル・カーターの軌跡	10
沈黙のゴールドラッシュ	11
ネオン暗黒街	14
戦慄のテロリスト	16
ワシントン特別区の危機	20
新たなる野望への出発	23
火星スペースコロニーの探検	25
嘆きの報復	27
奥付	
奥付	33

さまよえるロッキー山脈

ひたすら歩いた山道を登る長髪で若いリチャード・ルノーは別荘へ向かった途中で周囲を見渡すと、突然、イノシシが突進してきた。すばやく肩に背負ったショットガンを撃って、リチャードはイノシシを仕留めた。そのイノシシを担いでそのまま別荘へ向かって、玄関の近くにある木製の食卓の上に猪を載せた。リチャードはサバイバルナイフでイノシシの皮をさばいて内臓を取り出した。鉄棒をイノシシのお尻の穴から口の外まで突き刺すと鉄棒を炉にかけた。イノシシの真下に置いた。細かく割った薪（まき）に火をつけて火炙りにして、サバイバルナイフで切り刻んで獣のようにむさぼり食った。リチャードは棚の中にあるラム酒の栓を歯でぬき取り、ベットに座り、飲んでるうちにそのまま横になり、眠ってしまった。翌日の朝、目覚めたリチャードはシャワーを浴び、いつもとは違う狩人の格好に着替え、ショットガンを肩に背負って、布の袋に収めたイノシシの残骸を川へ投げ捨てにロッキー山脈の麓まで下りていった。リチャードは森が入り、しばらく歩いて行くと、ざわざわと物音がして段々と物音が近づいてきた。あっと思う間もなく茂みからクマが現れた。クマは立ち上がり、リチャードに襲いかかろうとする。クマの出没に驚いたリチャードはイノシシの残骸が入った布の袋を投げ捨て、ショットガンでクマの心臓を目掛けて撃ったが肩に銃弾が当たった。驚いたクマは茂みの中へ逃げていった。布の袋に収めていたイノシシの残骸をクマの餌にしようと思ったルノーは袋をそのままにして、別荘へ戻ろうと、山道を歩いていたときに後ろから1台の4WD車が突っ走ってきた。4WD車の窓が開くと何者かが短機関銃をリチャードに撃ちかけてきた。リチャードは、「うわーっ！ こいつら突然！ 何をしやがるんだ！」と言って咄嗟に森の中へ逃げていった。だが4WD車はリチャードを追いかけて、森の中にまで突っ込んでくると短機関銃を撃ってくる。リチャードは太い木の後ろに隠れて、間一髪で身を守る。その4WD車は太い木にぶつかって止まると、中から男たち4人が降りてきた。そのうちの1人が、「出てきたら殺さない」と言った。リチャードは手に持ったショットガンを握り締め、短髪で今よりも若気のいたりFBI捜査官をしていた頃を思い出して、いきなりショットガンを持ち、大きな岩陰へ移動した。リチャードは獲物を狙う獣の目となった狩人のテリトリーに入ってきた男たち4人はリチャードが隠れた大きな岩に短機関銃を向けて、激しく銃弾を浴びせてきた。リチャードが隠れていると思った大きな岩の裏にリチャードの気配は既になかった。リチャードは岩山の近くにあった太い木に隠れ、1人目を撃って、隣の大きな岩へ移動して、2人目を撃って殺した。残る2人の男は大きな岩に隠れたリチャードに短機関銃を撃ってきた。他の大きな岩に移動していたリチャードは大きな岩の間隙から3人目を撃つと、さらに大きな岩

の隅から4人目の足を狙って撃った。身動きできなくなった4人目にショットガンに向けて、「なぜ襲ってきたんだ？」と尋ねた。4人目は、「おまえが麻薬の取引を目撃しただろ！ ボスに『始末しろ！』と命じられた」と答えた。リチャードは、「ボスは誰だ！ 教えて？」と聞いた。4人目の負傷した足を思いっきり踏みつけた。すると、4人目は激痛に顔をゆがめながら、「ヴォルフ・チェルハだ！」と答えた。リチャードは、「やっ
と！ やつが動き出したか？」と言って容赦なく4人目をショットガンで撃った。

ヴォルフ・チェルハの謎

男たち4人と派手な銃撃戦を繰りひろげた後で山道にパトカー1台が止まり、警官たちが森の中へとやってきた。警官はリチャードに銃を構えると、「銃を下ろせ」と言った。リチャードはあえなく銃を下ろして、警官に捕らわれ身となった。コロラド州デンバー警察署に送られて、身元を調べられたリチャードはかつてFBIの麻薬取締班であったことを知られており、麻薬組織に関与していると見られる指名手配の男たち4人を射殺したことは問題がないとして、FBI捜査官としての名誉のお陰で釈放された。リチャードがデンバー署から出ようとしたところののっぼで中年のジョン・クウォークFBI長官が現れて、クウォーク長官はリチャードに、「体の調子はどうだ？ 覚えているか？ ジョン・クウォークだ！ 山奥の別荘に身を隠して、療養している男がいると聞いたもんでな」と言う。デンバー署から情報が流れて、リチャードを育てたFBI司法長官であるクウォークが会いにやってきたようだ。クウォーク長官と会ったリチャードは男たち4人に襲われたときの状況を、歩きながら語り始めた。リチャードは、「5年前、麻薬捜査官に任命されていたとき、ワシントンD.C.から離れた港の倉庫で麻薬組織が他の組織と麻薬取引を予定をしていることを知った。麻薬中毒で捕らわれていた病的なウィリアム・ベンの変装をして、麻薬組織に入ったところに周りからあまり知られてなかった病的なウィリアムの変装はばれることはなかったのです」「なるほど」「その今回の任務は麻薬組織の黒幕を探り出して、すべてぶっ潰すことでした。その準備のために麻薬取引現場で港の倉庫からちょっと離れた場所の街灯がない脇道にパトカー5台がサイレンを消して停まってました。警官隊は俺が持っていた無線発信機の信号を待っていました。午後8時頃、多くの麻薬組織を吸収して、大きくなった麻薬王が倉庫にやってきました。そいつはドイツ大使館に職務するよく肥えた中年のヴォルフ・チェルハ外交官でした」「何！ それは本当か！？」「はい！ ヴォルフ外交官は背後に部下を数人ほど引き連れていましたよ。ヴォルフ外交官はトラックの荷台に載せてあった麻薬が本物（ブツ）かどうか確かめてから、麻薬を積んでいるトラックの運転を部下たちに任せて、麻薬取引現場を去ろうとしました。すると、なぜか俺の無線発信機の合図を待たずパトカー5台が突撃してしまったのです。麻薬組織とヴォルフ外交官の手下たちはパトカー5台から降りた警官隊と銃撃戦となったのですが、俺はヴォルフ外交官と手下たちと一緒に逃走しました。着いた港の船の中に乗り込むと、すぐに船は出航しました。しばらくしてから、海の上で船が停まったのでどうしたかと思っていたらヴォルフ外交官が俺にドラッグを差し出しながら、『名はなんという？』と聞いてきました。俺は、『ウィリアム・ベンだ！』と答えました。すると、ヴォルフは、『あのドラッグ中毒患者のウィリアムか？ ドラッグはほどほにしておいたほうがいいぞ！ 若いの』と言うと笑ってました。俺は正体がばれ

ないようにドラッグを1本だけ取って、やむをえず吸い込んだのですが、気分が高鳴して、有頂天となっていました。やがてドラッグの効果がなくなってくると、ヴォルフ外交官に頼んではドラッグを吸い込み、いつしか天国と地獄の繰り返しの麻薬中毒になっていたのです。そして、なぜか誰もいないソファに座っているヴォルフ外交官に銃を向けると、『俺はFBIだ!』と言って手錠をかけようとしたのです。ヴォルフ外交官の部下たちがやってきて、銃を撃ってきました。咄嗟に、ソファの裏に隠れて、隙間から拳銃で撃ち返していると、しゃがみ込んでいたヴォルフ外交官から銃を頭に付かれて、銃を奪われてしまったのです。咄嗟に、爆弾と見せかけたジッポーを投げて、やつらがひるんだ隙を見て、海に飛び込んだら、そこはニューヨーク街から10kmほど離れた海の上でした。自由の女神があるリバティー州立公園をめざして泳いで渡ってリバティー州立公園で倒れたのです。俺はニューヨーク市立大学病院に送られて、安静にしていたのですが、医師の忠告も聞かず麻薬中毒者として病院から姿を消したのです。しかし、やつらの船にFBI国際捜査官を証明する手帳を落としてしまって、身元がバレたみたいです。やつらは今も証拠を握る俺を狙っているようです。恐らくあの船はドイツへ向かったのでしょう」と伝えた。

最後のベルリン

クウォーク長官は記憶から目覚めたりチャードに、「ワシントン D.C. にあるドイツ大使館で手がかりを探ろう！ どうだ！ FBI に復帰しないか？ おまえの力が必要なんだ」と言うと、リチャードは、「いや！ 麻薬中毒の影響があって、体が不安定な状況で重苦しいです」と答えた。クウォーク長官は、「そうか！ 北部に住む遊牧民のチェロキー族が麻薬に効くサボテンの花を知っているらしいぞ」と言う。リチャードは微笑み、「チェロキー族のところへ連れて行ってください」と言った。クウォーク長官と、一緒に車で移動した。たどり着いた山々に囲まれた中でチェロキー族の長に会い、リチャードは、「麻薬の中和に効くサボテンの花を頂けませんか？」と尋ねた。チェロキー族の長は、「神学の煙草（たばこ）ならある。あ〜サボテンの花は、南西部のネイティブアメリカン教会にある」と答えた。早速、リチャードはクウォーク長官と車で移動して、ネイティブアメリカン教会を訪れた。教会へ入ると、若い尼の女が現れて、「私はアメダイー・チャンと申します。どうかなさいましたか？」と聞いた。リチャードは、「麻薬の中和に効くサボテンの花がある聞いて訪ねてきたのです」と答えた。アメダイーは、「ペヨーテのことですね」と答えた。アメダイーは小さい青虫のようなサボテンの花を持ってきた。アメダイーはリチャードを横にして、サボテンの花を搾って、リチャードに飲ませた。リチャードはしばらく経つと、次第に体の調子がよくなって教会を後にした。リチャードはクウォーク長官に、「やつらをぶっ潰しに行きましょう！」と言って、クウォーク長官と一緒に車に乗って移動した。長い時間をかけてワシントン D.C. までたどり着いた。リチャードとクウォーク長官は外交特権など無視をして、ドイツ大使館に入っていった。大使館の中にいた若い女性のマルティナ・クレア秘書が現れると、リチャードはクレア秘書を銃で脅して、「ヴォルフ外交官はどこへ行った！？」と聞いた。クレア秘書は、「私は知らない。信じて！ 撃たないで！」と答えた。クレア秘書の背後から大使館職員たち 4 人が現れて、リチャードとクウォーク長官に向けて銃で撃ってきた。机の下に隠れたリチャードとクウォーク長官は一斉に立ち上がって、銃を撃ちまくった。職員たち 3 人を片づけた。残る 1 人はリチャードが投げたサバイバルナイフが、左足のふくろはぎに突き刺さって、左足を押さえながら、倒れ込んだ。リチャードは職員に、「ヴォルフ外交官はどこにいる？」と尋ねた。リチャードは職員の 1 人が答えないと足に突き刺さったサバイバルナイフを抜き取り、そのふくろはぎを足で押し付けた。白状した職員の 1 人が、「ヴォルフ外交官はドイツにいる」と答えた。リチャードとクウォーク長官が立ち去ろうとしたら、職員の 1 人が銃を向けたのを感じたリチャードは後ろを振り返って、職員の 1 人を撃った。その後、リチャードとクウォーク長官はクウォーク長官の金持ちの友人に用意してもらった自家用飛行機に乗って、長い経路をベルリンにたどり着いた。リチャードとクウォーク

ク長官はレンタカーでヴォルフ外交官の船を探しに港を訪れた。ヴォルフ外交官の船らしきものはない様子だった。先に進んでいくうちにヨットハーバーがあった。ヨットが立ち並んだところに色違いのヴォルフ外交官の船を発見した。ヴォルフ外交官の船はパールホワイト号と書かれていたはずの文字は消され、ホワイトだった全体の色はブラウンに塗装し直されていた。リチャードとクウォーク長官は船を調べた。船に乗り込んで気になる部屋の扉を蹴り飛ばして、開けた倉庫室を調べると、ドラッグが1000本ほども入った箱が積み重なっていたのを見つけた。ヴォルフ外交官を脅かしてやろうと思ってドラッグの入った箱に火を点けてすべてを燃やした。リチャードとクウォーク長官は船から外へ出ていった。車の中で誰か来るのを待った2時間後に1台の車がやってきた。手下たち4人が車から降りて船の様子に異変を見ると、手下たち4人は車に乗って引き返していった。その車の後ろについていったら、豪邸に着いた。車から降りた手下たち4人は豪邸に入っていく。リチャードとクウォーク長官は豪邸の窓の外から、やつらの様子を窺ってヴォルフ外交官がいるのを確かめた。ヴォルフ外交官は手下たち4人に、「何者が船にあったドラッグをすべて燃やされたのか？」と聞いた。怒り出したヴォルフ外交官は外に出て、愛車の黒いアウディに乗って、ヨットハーバーまで行って、船の中を確かめた。翌朝からヴォルフ外交官と手下たち4人がそれぞれ車に乗って、出かけたのでリチャードとクウォーク長官は後をつけていった。やがてコンビナートが建ち並んだ石油工場に着いた。そこは麻薬シンジケートの麻薬取引現場のようで札束が入っているとされるスーツケースを持って、取引相手がヴォルフのところに現れた。相手はヴォルフに、「ブツはどこだ？」と尋ねた。ヴォルフ外交官は、「失くしたんでな、そんなものなどあるか」と答えるなり、銃で相手の額を撃って、スーツケースを奪って、手下たち4人に守られながらも相手の手下たちと派手な銃撃戦を繰りひろげた。手下たち4人のうち3人の男が撃たれたが、相手の手下たちを片づけた。残る1人の男とヴォルフ外交官がアウディで逃走しようとしたときにリチャードは、「止まれ！ 撃つぞ！」と言って、銃を向けた。クウォーク長官は、「動くな！ 撃つぞ！」と言って、銃を向けた。手下が、「クウォーク長官の足を撃って、クウォーク長官はそいつの胸を撃って、お互いに倒れ込んだ。ヴォルフ外交官はアウディに乗って、交差点の信号を無視して逃走していった。リチャードは取引相手が乗ってきた黒いBMWに乗って、ヴォルフ外交官の後を追いかけた。ドイツ警察に追われる中でカーチェイスが続いた果てにアレックホテルで車から降りて、ヴォルフ外交官はロビーに入っていた。リチャードも車を降りてロビーに入ると、エレベーターで時計台機械室のある階に降りたヴォルフ外交官を追っていった。リチャードが銃を構えて時計台機械室に入ると、すぐに時計仕掛けの隙間からヴォルフ外交官がリチャードに向けて、銃で撃ってきたがリチャードはヴォルフ外交官が銃で撃ってくる方向を目掛けて、銃で撃ち返した。そのうちにヴォルフ外交官の右肩に弾が当たった。ヴォルフ外交官は右肩を押さえながら流れ落ちる血痕を残して、非常口から外に出ると、階段を一つ上の階まで上り、エレベーターでホテルタワーの球体展望台のある階で降り立った。リチャードはヴォルフ外交官が残した血痕をたどり、頂上の球体展望台に降り立った。リチャードは球体展望台に銃を構えて入った。背後からリチャードに銃を向けたヴォルフ外交官は、「おまえはおじいさんになるまで麻薬中毒のままなのか？ かわいそうに」と言って、撃とうとした時に銃を床に落としてしまった。

すかさずヴォルフ外交官の腕を取って、床にねじ伏せた。リチャードは、「あのときはどうも！ だがもう麻薬中毒は治ったんだよ！ きさまのようなやつは地獄に行け！」と言って、ヴォルフ外交官を殴りながら、球体展望台の窓の近くにひきずってきたリチャードは最後の一撃でヴォルフ外交官を窓のほうへ蹴り飛ばした。落としていた銃を拾って、ヴォルフ外交官に4発を打ち込むと窓ガラスが割れた。そのままヴォルフ外交官はホテルタワーから転落していった。ドイツからはなんの抗議もなかった。自国の外交官が麻薬取引をしていたためだろう！ やがて事件を無事に解決させたリチャードとクウォーク長官はワシントン D.C. にある FBI 連邦捜査局に戻ってぼさぼさの長い髪を束ねたりチャードと左足を負傷したクウォーク長官は大統領から表彰を受けた。

賞金稼ぎの旅

1年後、野性的で筋肉質なリチャードはFBI 囀捜査官の任務を終了して肉体の傷を癒やすために夏期休暇を取り、コロラド州のロッキー山脈にある別荘に戻ってきた。やがてベルトと鞭（ムチ）とサバイバルナイフを取りつけて狩人の格好をした。夜の森でたいまつを拾って、辺りが明るくなった中を先へと進んでいった。オオカミが吠える声を聞いてしばらくすると、オオカミ5匹の群れが襲いかかってきた。リチャードはたいまつの炎を振り回してオオカミをかわしてショットガンで1匹ずつ撃った。リチャードはオオカミ5匹をサバイバルナイフでさばいて毛皮だけを別荘へ持って帰った。翌日、リチャードはオオカミの毛皮を持って、デンバー駅に向かっていった。ユニオンパシフィック鉄道の終点リオグランデ駅まで世界最大最強級の蒸気機関車ビッグボーイに乗って旅に出た。ビッグボーイが出発して、窓から見える景色がロッキー山脈の山々を越えて、コロラド川を通過して、リオグランデ川が見えてきた頃、たまたま隣に座っている青い目で金髪の青年のビル・カーターとリチャードは知り合いになった。ポーカーを始めたリチャードにハートのエースがきて、幸運を感じていたがしばらく経ってから、ジョーカーを引いた途端に悪運は的中した。突然、ビッグボーイが停止して動かなくなった。イタリアンマフィアのナジと呼ばれるボスが手下たちを連れて、ビッグボーイに侵入してきた。やつらはリチャードとビルのいるところにやってきた。ナジはビルを連れ去ろうとした。リチャードはナジの手下たちが持っているマシンガンを奪って、隣の車両に移って座席に隠れた。手下の5人がマシンガンを持って、隣の車両に入ってきて、マシンガン撃ってきた。息の根を止めたと思っていた手下たち5人に対して、リチャードがマシンガン撃った。手下の2人が倒れた。その隙に、リチャードは車両の外に出た。リチャードはリオグランデ川へ走り、川の中にもぐって身を隠した。リチャードは残る手下の3人が車両の外へ出てくるのを見はからって、川から飛び出してマシンガン撃って手下の3人を倒した。その間、ビルはナジの緑色のフェラーリに乗せられて連れ去られていった。リチャードはビッグボーイに戻って再び発車するのを待ちながらモバイル通信機でFBI 情報部のリザベア・ナターリに、「ナジの情報を調べてくれないか？」と頼んだ。壮年のリザベアはリチャードに、「ナジは過去に窃盗、賭博、殺人、前科があり、ギャンブル王のナジリオ・ジェルミのことだわ」と答えた。ビッグボーイはまた動き出して、各自個室の寝台で休まり、ようやく長い経路が経ってリオグランデ駅に着いた。リチャードはオオカミの毛皮を持って駅を出たら質屋に行った。リチャードは質屋の年をとったジェームズにオオカミの毛皮を見せ、1000ドルと交換してもらうことができた。その金でナジから奪ったマシンガンの弾を購入した。その夜、リオグランデホテルに宿泊していたリチャードは、ホテルのクラークからホテル大広間で賞金稼ぎ

ゲームをしていると聞いたので参加して、サバイバルナイフ投げに挑んだ。対戦相手の背が高く細身のメキシカンで中年のアントニオ・バジリオ保安官は手強そうなので気合を入れて勝負した。ルールはダーツと同じで標的にサバイバルナイフを投げて、より真ん中のターゲットを突き刺すほどポイント数が上がるゲームだ。挑戦者のリチャードからサバイバルナイフを投げることになった。15回セットを繰り返した。結果は最初にポイントが優勢だったリチャードは、285点で途中からポイントを上げた。バジリオ保安官は315点でバジリオ保安官の勝利となった。バジリオ保安官に賞金が支払われて、リチャードは負けた悔しさからバジリオ保安官にもう一度、他のゲームで挑戦を仕かけた。今度はハット帽落として、ルールは長い棒に何本もフックがあり、そのフックにハット帽をかけた長い棒が3本ほど立ち並んで時間内に鞭を使ってハット帽を払い落として、落とせば落とした分だけがポイントになるゲームだったがゲームを繰り返した結果、バジリオ保安官は9点でリチャードは15点を上げて、リチャードの勝利となったリチャードに賞金が支払われた。バジリオ保安官はリチャードに、「ベガスで本当の賞金稼ぎをしないか？」と聞いた。リチャードは「望むところだ」と応じた。バジリオ保安官はリチャードに背を向けて部屋に戻って、リチャードも部屋に戻っていった。ようやく旅の疲れを癒やしていた。ドアをノックする音がしてロックをかけたままでドアを開いたら、ホテルのクラークから、「明日の午後6時にルクソールホテルのカジノ場で会おう！ バジリオ保安官より」と書かれた招待状を手渡された。

ビル・カーターの軌跡

孤児で育ったビル・カーターが叔父の家で暮らしていた頃、叔父に連れられて、ドラッグレースを観に行った。空転するタイヤからすさまじい白煙が上がった。直線コースを突っ走っていった改造車の2台を見て、自分もやってみたいと思うようになった。高校を中退したビルは、傷害や窃盗で警察の世話となっていた。そのたび、叔父に迷惑をかけては助けられた。その頃、幼少時代に観たドラッグレースの影響で叔父の車を運転するようになって停止状態から発進してゴールまでの時間を競うための改造車を探した。いつの日か競技に参加するのが夢だった。やがて叔父の知り合いの整備士からチューニングされた改造車を譲ってもらい、ドラッグレースに挑むようになった。対戦するのはシルバーの改造車に乗るデニー・マッカーシーでホワイトにレッドストライプの改造車に乗るビルと2人は2台の改造車で並んだ。左右に分断された中央にあるクリスマスツリーの信号が青になってシグナルシステムを踏み切ってゴールまで突っ走っていった。この日のために練習を重ねてきたのに、ビルはコースの途中でハンドルを取られて、デニーの改造車と接触して2台ともクラッシュした。ビルは意識を取り戻したがデニーは即死だった。ビルはデニーの事故により、二度とハンドルを握ることはなかった。その後、ビルは事故の責任を背負って仕事にありつけず酒を飲み歩き、麻薬の売人から買ったマリファナを吸って過ごしていた。そんなビルを見た叔父は家に帰らせず勘当した。その夜、ビルは酒場に行って、アメリカンギャングで青年のデイビーズと出会って生活をほとんど一緒に生きることになった。ビルはデイビーズに命じられて、街で暴力行為を働かせて、金や銃を手にした。ギャンブル好きだったデイビーズはビルにカジノでやるルーレット、クラップス、トランプゲーム、ブラックジャック、ポーカーの詐欺テクニックを教え込んだ。いつしかカジノ賭博をやり市街地の路地にある建物にビルとデイビーズは入っていった。そこは資本家たちが集まるカジノでルーレットを回してチップをかけられた。カジノに参加していたビルは、市民から奪った金でチップを賭けて、ルーレットを回したタイミングで小細工した。クラップスとトランプゲームではダイスの目を読んでまんまとお金をだまし取れた。そうして、次第にトップとなったビルは最後まで勝ち続けて380万ドルも大金を獲得した。中高年の資本家たちはビルに納得できず何度も勝負を挑んだが、詐欺の手口を見破られないビルは天才ギャンブラーと呼ばれるようになった。

沈黙のゴールドラッシュ

翌日の夜、古代エジプトのスフィンクスのような巨像が両脇にある神殿門を通りぬけて、ゴールドにきらめくルクソールホテルにあるカジノに向かった。フランス人の父とイギリス人の母とのハーフであるリチャードはバジリオ保安官と再会した。最初はスロットルマシンのメガボックスにルノーとバジリオ保安官は互いに25セント硬貨を何枚か入れて運試しをした。フルスロットルを回していった。結果、リチャードは380万ドルでバジリオ保安官は600万ドルを稼いだ。バジリオ保安官に圧倒的リードされたリチャードは次にバジリオ保安官とカジノ広場へ向かった。ベガスのホテルオーナーたちが集まってルーレットを回していた。リチャードとバジリオ保安官は稼いだ賞金を使ってゲームに挑んだ。その席に拉致されたビルがいて、驚いたリチャードはそれに気づいても、声をかけずにいた。ビルがルーレットを回すたびに段々とチップが山積みとなり、リチャードとバジリオ保安官はルーレットを回すたびにホテルオーナーたちは勝てずチップは減っていくばかりだった。リチャードのほうがバジリオ保安官よりもチップの山は多かったがビルには到底かなわなかった。ビルは他の青年ギャンブラーと協力しあってルーレットのマスにプラスとボールにマイナスの磁石を小細工して、トランプゲームのブラックジャックとポーカーはトランプナンバーを盗んで、クラップスはダイスの目を読んだ。たまにはマスにボールにしかけた磁力が弱くはずれたが、カジノゲームが終わり頃にビルは、「勝った！」と言うと、葉巻をくわえたナジがやってきて、トップでゲームを終わらせたビルを連れて黒い扉の中へ入っていった。中年のナジの後についていったリチャードは黒い扉を開けようとしたがロックされており、開けることはできなかった。室内でビルは同じように拉致され、カジノで稼がされた青年のギャンブラーたちと、人身売買で買われた若いイタリア女性たちを相手とマリファナパーティでたわむれていた。ナジはビルに遊び女の中で一番の美女のソフィア・スミスを譲ってまでビルだけを特別に可愛がっていた。青年のギャンブラーたちとビルは遊女と引き換えにカジノゲームでいかさまを仕掛けていたのだった。リチャードはモバイル通信機でFBI情報部のリザベアに、「若い青年が監禁されている」と言って、応援を頼んだ。今回のカジノでバジリオ保安官とわずかな差で勝ったリチャードはバジリオ保安官と別れて、ホテルの一室に戻ってベットに腰かけたときにサイレンサー付きの銃を後頭部に突き付けられた。ナジの手下は、「俺たちのことを覚えてるかハンサムなワイルドビッグボーイさん」と言って、引き金を引こうとした瞬間にリチャードはそいつが持っているサイレンサー付きの銃を奪ってすかさずに3発ほど撃った。リチャードは部屋を出て、急いで非常階段をフロントまで駆け降りてホテルクラークに、「マシンガンに戻してほしい！」と頼んだ。ホテルクラークは、「これはお客様がチェックアウトされるまで預からせてもらいます」と

答えた。リチャードはホテルクラークの額にサイレンサー付きの銃を突き付けて、「マシンガン早く戻せ！」と脅した。ホテルクラークはおどおどして、「わかりました」と言うと、マシンガン銃庫から取り出して、リチャードに手渡した。こうしているうちにナジの手下たちがフロントカウンターにいるリチャードに向けて、銃を撃ってきた。弾はリチャードをはずれて、ホテルクラークに当たっていた。フロントカウンターを飛び越えて身を防ぐと、リチャードは弾を込めて、立ち上がるいなやナジの手下たちにマシンガンをぶっ放して倒した。悲鳴をあげてホテル客たちはフロントロビーから外へ出ていった。リチャードはマシンガンを持って、非常階段を上って、カジノ広場に向かってマシンガンでスロットルマシンに向けて撃った。カジノゲームしているホテルのオーナーたちは非常事態だと思い、すばやく逃げ出した。リチャードは黒い扉の鍵穴をマシンガンで撃ち壊して、黒い扉を蹴飛ばして、中へ入っていった。室内ではビルとソフィア以外の青年のギャングラーと若いイタリア女性たちはみんな血を流して倒れていた。ルクソールホテルにパトカーがやってきた。ナジたちが屋上のほうへ逃げたと思ったらリチャードが屋上へ上ると夜空の向こうから、ヘリコプターが降り立った。ヘリから降りてきたFBI情報部リザベアにルノーは、「えらい、応援が早いじゃないか？」と聞いた。リザベアは、「あとからも、すぐに応援がくるわ！」と答えた。リザベアはリチャードに、「ナジがどこへ向かったか解ったのよ！」と言った。リチャードは、「そうか！よし！俺たちはやつらのいき先にいこう」と言った。一緒にヘリに乗って、翌朝、カリフォルニアのウィルスファースト歴史博物館の近くに降り立った。博物館にリチャードとリザベアが入っていくと、ナジが手下たちを連れて館長に金の在処が解るマップと青年のギャングラーが荒稼ぎした1000億ドルと取引相手をしてるところだった。即座にリチャードとリザベアはナジと手下たちにマシンガンと銃を向けて、「FBIだ！銃を捨てろ！」と言うと、ナジと手下たちは銃を下ろさずに、にやにやしていた。すると後ろからなぜかリザベアがリチャードの後頭部に銃を突き付けた。リザベアは、「マシンガンを下ろしな！」と言った。リチャードは、『マシンガンを下ろせて！』どういうことだ！」と聞いた。リザベアは、「私はイタリア政府のスパイでナジの妻なのよ」と答えた。リチャードはナジに後頭部を殴られて気絶して、どこか知らない場所で目が覚めると、縄で縛られており、近くにビルとソフィアが縄で縛られているのに気づいた。見張っているナジの手下たちはリチャードとビルとソフィアに死のルーレットをさせて、自決させようと企んだ。ナジの手下たちはリボルバー銃に1発だけ弾を込めて、リチャードに手渡した。そのリボルバー銃を使い、リチャードからゲームは始まった。リチャードは引き金を引いたが助かった。ビルも引き金を引いたが助かった。ソフィアが引き金を引こうとしたときに、コルト銃を持ったバジリオ保安官が現れて、ナジの手下たちを撃ち殺した。バジリオ保安官はリチャードとビルとソフィアの縄を解くと、その場所から連れ出した。ビルとソフィアを逃がした。リチャードとバジリオ保安官はナジとリザベアの行方を追うことにした。監禁されていた場所はカリフォルニアの海が見えるナジの豪邸であった。バジリオ保安官はリチャードに、「ルクソールホテルでおまえと手下たちの派手な銃撃戦の後でナジを追って、ここにたどり着いた」と述べた。ナジとリザベアは金が砂金山（さきんざん）にあると思っていたので中年の考古学者のトーマス博士に協力してもらって、金の掘り出しに成功した。トーマス博士はナジの手下たちに指示をし

て、掘り出した金をトラックに積んでベガスへ運ばせた。ナジとリザベアはヘリに乗ってベガスへ向かった。リチャードとバジリオ保安官はナジの豪邸に戻ったら、ベガスでの陰謀が書かれた計画書を見てベガスへ向かった。

ネオン暗黒街

その夜、陰謀が動き出した。手下たちが1000個の金塊を積んだトラック5台がベガスにやってきた。多く建ち並ぶホテル内にカジノを設けたネオン街の一角にあるホテルの屋上にナジとリザベアの乗ったヘリがホテルの屋上に降り立った。MGM グランドホテルにすばやく移動すると、ホテルオーナーたちがカジノ広場でルーレットを回している最中だった。そこに現れたナジとリザベアと手下たちはホテルのオーナーたちを銃で脅しては密室に連れていき、金とホテルオーナーの権利の引き換え交渉した。ホテルのオーナーたちにホテル売買契約書にサインをさせて、ホテルを買い占めていった。2時間後、光の閉ざされたネオン暗黒街となったベガスにリチャードとバジリオ保安官はやってきた。MGM グランドホテルとモンテカルロホテルとラスベガスヒルトンホテルとアラジンホテルは大停電で闇に沈んでいた。ホテルを乗っ取ったナジとリザベアと手下たちがホテルのセキュリティコードをリセットさせるために配電室のスイッチをすべて切り、停電させたのだった。配電室のすべてのスイッチをつけて、新しいセキュリティコードを入力して、金庫室の扉を開いた。各ホテルの金庫室にトラック5台分の1000個の金を納め、各ホテルの金庫室に眠る財宝をトラック5台に積んだ。ナジの手下たちが5台のトラックで財宝を奪って去ろうとしたときに、陰謀を阻止しようとしてきたリチャードとバジリオ保安官はその光景を見てすばやく行動した。リチャードにベレッタ銃を投げ渡したバジリオ保安官と二手に分かれて、手下たちが乗ったトラックのタイヤを撃った。トラックを止め、手下たちがトラックから降りてくると、派手な銃撃戦となった。弾を込めては銃撃戦を繰り返して、手下たち10人を6人に減らして、リチャードはトラックのほうへ回り込み、トラックの隅から手下たちを撃った。そして、トラックの下に隠れていたリチャードは手下の背後に立ち上がって、手下の1人をサバイバルナイフで喉を引き裂いた。トラックの助手席に沈んで隠れていたバジリオ保安官はトラックのドアウィンドウが開いていた窓に近づいてきた手下の1人をつかんで首をへし折って散弾銃を奪って、他にやってきた手下たちを散弾銃で撃った。銃撃戦があっつかパトカー5台がやってきた。リチャードとバジリオ保安官は、再びナジとリザベアのいるところを突き止めようとした。MGM グランドホテルを見上げるとプロペラが回って、ヘリが飛び立とうとしていた。屋上でヘリを動かそうとしていたナジとリザベアはヘリの調子が悪いと思い、ヘリの外に出てタンクの栓を調べたらタンクの開いた栓に突っ込まれたホースから燃料が漏れてなくなっていることに気づいた。ヘリに細工したビルとソフィアがやってきて、ソフィアはリザベアと散々殴り合って、ソフィアはリザベアを転げ飛ばした。仰向けになったリザベアはソフィアが銃で撃とうとした瞬間に、ソフィアはリザベアをリボルバー銃で何回も引き金を引いて撃ち殺した。ビルとナジは殴り合い

になっていた。ナジに何回も殴り返されたビルは、ナイフを向けた。ナジはビルに銃を向けて、「なぜだ！俺の女をくれてやったのに、おまえを殺すのは惜しい。おまえは息子のようで好きだった！」と言った。ビルは、「おあいにくさまだ、俺はてめえなど親父のように思えないし好きじゃない」と言って、ナジの腹をナイフで刺そうとした。ナジはビルのナイフを銃で撃って払い落として引き金を引こうとしたところを、そこにやってきたリチャードが鞭を振るって、ナジの銃を払い落として、バジリオ保安官はナジに散弾銃を向けた。夜空の向こうからナジの助っ人のヘリがやってくると、ライフル銃をリチャードとバジリオ保安官に向けて撃ってきた。あわてて屋上のドアが開いた中に入って、バジリオ保安官はリチャードに、「カジノでは負けたが、この勝負はもらったぞ！」と言った。ナジは屋上に近づいてきたヘリに乗った。間一髪で逃げだそうとしたときにバジリオ保安官は屋上のドアから身をおどり出て散弾銃をヘリに向けて5発撃った。すると、ヘリは黒煙が噴いてバランスを崩して急降下して大爆発した。光を取り戻したネオン街にあるハードロックホテルでのんきに帰ってきたリチャードとバジリオ保安官はホテルの部屋で身を癒やした。バジリオ保安官はリチャードに、「これでベガスでの勝負に借りは返したぞ！」と言って、ニューメキシコ州に戻っていった。ビルとソフィアがリオグランデ駅からデンバー駅までのビッグボーイに乗ってきた。列車に乗っていたリチャードはポーカーをしてるビルとソフィアにまた出会って3人でポーカーをやりながらデンバーを目指した。終点デンバー駅に着いた。ビルとソフィアと別れた夕陽の中でリチャードは、ロッキー山脈の山中にある別荘でサバイバルナイフを使って髪を短く切った。そして、社交的なリチャードに蘇って身を隠すために療養していた別荘を売却処分してワシントン D.C. にある FBI 連邦捜査局に戻っていった。

戦慄のテロリスト

2年後、リチャードは31歳になり、FBIのSWAT特殊部隊に転任した。マーシャルアーツ（武芸）パートナーのロバート・ロドリゲスがトレーナーがついて、毎日のように特訓していた。その頃、カリフォルニア湾の海の上で中国の難民船がアメリカ領域に入ってきた。沿岸警備隊は難民船を止めようとしたが、制止を振り切り、突進してきた。沿岸警備隊たちは難民船に向けて、機関銃を撃って攻撃した。これにより難民船の乗組員35人中11人が負傷し、7人が死亡して中国との外交問題となり、アメリカで大きなニュースとして取り上げられた。ワシントン州立の中学校で中国系の生徒が人種差別を受けたことを根に持って、拳銃乱射事件を起こし、白人の生徒3人を射殺した。このことがきっかけでカリフォルニア州サンフランシスコのアメリカ最大のチャイナタウンで中国人の貧困問題と人権問題が勃発して火炎瓶を投げるなどした大規模なデモが起きた。ニューヨーク市マンハッタンのウォール街とブロードウェイの交差点にあるニューヨーク証券取引所では中国とアメリカとの関係がきな臭くなったために貿易がかんばしくなくなった。外国為替市場で元安とドル高が続いて中国人株主は企業の株が落して倒産した。共和党に所属するウィルソン議員がカリフォルニア州知事選挙に立候補し、中国人の人権問題をスピーチして回って、見事に当選した。就任式で民衆に囲まれる中でまた中国人の人権問題をスピーチしているのを見守っていたシークレットサービスの一員が、どこかのビルの上から一点の光に反射して異変を感じてウィルソン州知事の盾となって1発の弾を受けた。民衆はパニックとなって散らばった。ビルの上にいる狙撃犯を警官たちが追って、非常階段を降りてきた中国系の男を確保した。捕らわれの身となった男は銃の乱射事件を起こした不登校の中国系中学生徒の父親チャンだった。もともとスナイパーだった男は狙撃銃でターゲットのウィルソン州知事に照準を合わせて暗殺を図った。理由はかつて政権を握っていたときは何も手を打たなかったのに、いまさら中国系の貧困と人権問題を語るウィルソン州知事がゆるせなくなり、刑務所にいる息子の復讐を試みたということだった。サンフランシスコのチャイナタウンでいたため先日、起きた中国人の難民船への攻撃により、亡くなった遺族にささやかな暮らしもできず変革デモのチャイニーズ運動へ参加するため積極的に中国人を脅かす人権問題を抗議したハンという男がリーダーとなって中国人の民衆を集めたら過激派の最強のテロ集団となった。チャイニーズマフィアが所有するマンション3件を武器保管庫にして、銃とマシンガンとショットガンとグレネードとロケットランチャーを集めて、250丁も武器を手に入れていた。チャイナタウンでウィルソン州知事を暗殺しようとしたチャンとその息子は裁判でチャンは懲役7年、その息子のほうは終身刑となり、刑が重すぎると差別を感じた中国系の民衆とハンが率いるテロ集団と警官隊の紛争が始まった。アメ

リカの首都であるワシントン D.C. (特別区) の FBI 本部で道場でマーシャルアーツを猛特訓してるリチャードとロバートは、翌日の SWAT 異種格闘技大会トーナメントの予選に出場しようとしていた。アメリカ各州の SWAT のなかから格闘技のエキスパートが集まって、武術の腕を競い合って、年に一度のアトランタ市ジョージア州立体育館でトーナメントがおこなわれることになり、リチャードとロバートのいる FBI の SWAT チーム隊長ライリークーガーはアトランタ警察 SWAT のイギリス人と中国系のチョウと戦った。空手のクーガー隊長に対して、必殺虎拳を得意とするチョウは圧倒的な技の持ち主で腹を打って、胸を打って、真正面から顔蹴りをして、3本勝ちで準決勝に進出した。予選突発して準決勝までたどり着いたりチャードとロバートにリチャードに対して虎拳のチョウとなって、ロバートに対してシアトル警察 SWAT の中国系美女で鶴拳の使い手チュウとなった。マーシャルアーツの達人となったリチャードは虎拳のチョウから腹と顔を連打され、1本取られた。チョウはリチャードに腹と顔をパンチされ、1本取られて、リチャードはチョウの必殺虎拳を両腕で防いで、虎の拳を2度打たれ、顔を打たれ、1本取られた。1試合3ラウンドでチョウがポイント勝ちで決勝に進出した。ロバートはマーシャルアーツでチュウの鶴拳で戦っていた。チュウはロバートに2度回しキックされ、キックを外したものの、返しキックされ、1本取られた。ロバートはチュウに蛇鶴八歩に打たれてたのをかわしたが、横から顔を返しキックされ、1本取られた。そして、最後に正面から顔をキックされ、1本取られてチュウが勝って、中国系同士のチョウとチュウの決勝戦となった。チョウの虎拳とチュウの鶴拳は競り合いが続いて1試合3ラウンドの勝負は判定引き分けで終わった。ポイントの優勢でチョウが勝った。大勢の観衆にアナウンスが流れて、「みなさん！突然ですが選手一同に緊急事態の発生のお知らせです。SWAT 隊員すべてに至急の非常招集が発せられました」と放送された。サンフランシスコのチャイナタウンの凶悪化して、残忍な手口で憎悪をむきだしたテロ集団を阻止しようとした警官隊との紛争を止めようと、SWAT が派遣されることになった。SWAT 隊員たちは航空機に乗って、長い空路を一気に飛ぶことサンフランシスコのチャイナタウンにたどり着いた。SWAT 隊員たちは警官隊のいるところまでいこうとしたが、暴徒集団が警官隊のパトカーに向けてグレネードを6発を撃ってきたためにパトカー5台が爆発した。爆音と一緒に飛ばされた警官隊は9人が負傷した。残る警官隊でテロ集団にショットガンを撃ってテロ集団の235人中27人を検挙した。警官隊は装甲車1台を用意すると、テロ集団に向けて大砲を撃ってテロ集団の54人が一度に吹き飛ばされた。これに反撃したテロ集団は、ロケットランチャーでロケット弾を撃って装甲車を爆破した。ハンは友人のウォン副リーダーに任じた。ハン率いるテロ集団とウォン率いるテロ集団で二手に分かれた。ハン率いるテロ集団はサンディエゴヘトラック3台に乗って向かっていた。ウォン率いるテロ集団はサンフランシスコシティで中国系の人権問題について、憲法改正により、人権差別のないように内文書を押収させることを要求して、超高層ビルや市営鉄道の中に入り、市民を人質にして立てこもった。突然、緊急事態となり、占拠された超高層ビルを解放するために SWAT 隊員たちが動き出した。SWAT 隊員たちはハイジャックされたバスや市営鉄道の窓から見えるテロ集団の位置で人質を避けて、アサルトライフル小銃で射撃した。さらにバスや市営鉄道の中に入って、銃撃戦を繰り返して、テロリスト30人を全滅させた。占拠された超高層ビルのに

突入した SWAT 隊員たちは上と下の階に分かれた。クーガー隊長率いるリチャードとロバートとチョウとチュウの 5 人は最上階へ向かっていった。リチャードとロバートは社長室に立てこもっているテロリスト 10 人がいた。人質を避けてテロ集団の行く先にショットガンで撃ちかけた。テロリスト 6 人を射殺した。人質を社長室から解放させて、社長室にいるテロ集団に 3 発の手榴弾を投げて、爆発させて、テロリスト 4 人を殺した。リチャードとロバートを追ったテロ集団が部屋に隠れて、ショットガンやマシンガンで撃ってきた。リチャードとロバートも部屋に隠れてアサルトライフル小銃を撃った。チョウとチュウはアサルトライフル小銃でテロ集団がいる会議室の扉を開けて人質を解放すると、会議室から外にやってきたテロ集団に対して、アサルトライフル小銃のストックで頭を殴って、顔を突いてはキックしては撃った。リチャードとロバートが誰もいない集会所に探りを入るとウォンが現れた。リチャードはウォンにアサルトライフル小銃を蹴り飛ばされて、ロバートはウォンに顔を掌で打たれて、アサルトライフル小銃を蹴り飛ばされた。リチャードは八卦掌（はっけしょう）のウォンに回しキックをかわされ、2 回パンチをかわされると、反対にウォンに肘で胸を突かれて顔を拳で打たれて倒れ込んだ。ロバートはウォンに返しキックをかわされるや、右足を肘で突かれて骨が折れた。さらに顔を掌で 5 回ほど打たれ、腹と胸を同時に 3 回ほど掌で打たれてしまって、口から血を流して倒れ込んだ。目覚めて起き上がって、リチャードは倒れているロバートのところに行くところロバートは小声で、「来年は SWAT 異種格闘技大会おまえが優勝しろ」と言うと、リチャードが、「わかった！ 最善を尽くすよ！ 大丈夫か？」と言うと、ロバートはリチャードの胸の中で息を引き取った。怒りが込み上がったリチャードは、ウォンに 3 回パンチをかわされたものの、腹に 2 回パンチが当たって、あごにアッパーパンチが当たった。リチャードはウォンに顔と腹に掌を打たれ、壁に投げ出されたが、飾ってある陶器を持ってウォンの頭を目掛けて、投げつけた。ウォンは飛び蹴りで割った。ウォンはリチャードに掌を 4 回ほどかわされたときに、隙ができたリチャードはウォンを目掛けて、左右から 8 回パンチを送り、顔に 3 回キックして、3 回ジャンプキックした。ウォンは口から血を吹き上げて倒れた。ウォンが怯んだところでクーガー隊長が駆け付けて、リチャードに超高層ビルにプラスチック混合爆弾が仕掛けられているという。爆弾処理班を呼ばずに人質を避難させたリチャードはロバートを置いて離れていった。クーガー隊長は、「俺のことは構うな！ 早くいけ！」と言って、リチャードは、「いや！ しかし・・・」と言って、チョウとチュウと一緒に人質を避難させながら、超高層ビルの非常階段を下りていった。クーガー隊長は最上階から中階まで危険が伴うと知っていながら、人質を探しに残った。超高層ビルへ駆け付けてきたレスキュー隊はクーガー隊長と人質たちの救助に向かった。クーガー隊長が若い OL 女性を見つけて避難させようと、ちょうど超高層ビルの中階まできたとき、レスキュー隊が合流した時に 5 箇所に設置された混合爆弾が大爆発して、クーガー隊長と OL 女性とレスキュー隊 5 人は爆発事故で亡くなった。急いで非常階段を下りているリチャードは爆音に立ち止まり、「クーガー隊長！」と叫んで戻ろうとしたが、火の勢いが強く、あわてて窓からパラシュートを使って超高層ビルから脱出した。25 人の SWAT 隊員は人質を解放させて、超高層ビルにいたテロ集団 153 人を壊滅した。ウォンのテロ計画は失敗で終わった。残るテロリスト 70 人の中で中国系の未来を支えるハンは中国雑技団に使われる仮面を

被った顔を覆ってサンディエゴへ向かって逃走した。SWAT 隊員たちはハン率いるテロ集団の行方がわからずに航空機に乗って、首都であるワシントン D.C. に戻っていった。リチャードは、「ロバートの仇（かたき）は取ったぜ！」と心の中で思った。その後、クーガー隊長とロバートを含んだ SWAT 隊員 7 人の告別式をした。

ワシントン特別区の危機

ワシントン D.C. の FBI 連邦捜査局に戻ってきた SWAT 隊員たちは宿舎で休んでいた。翌朝、チョウはアトランタへチュウはシアトルへ帰るのをやめて、FBI の SWAT チームに加入することになり、SWAT 隊員たちはテロ対策に備えて訓練を始めた。今回のテロ集団との銃撃戦で防弾チョッキを着用していても、命拾いをした SWAT 隊員たちがいた。このことによって、SWAT 隊員たちはもう一度、見なおして爆発物処理の戦略が必要となって防弾チョッキを身につけて市民を脱出させる訓練を受けた。70人もいるハンのテロ集団を捕まえようとカリフォルニア州の警官隊が動き出した。トラック3台に乗ったテロ集団は動きを止めようとした警官隊との銃撃戦を繰り返した。いきなりテロ集団は走って逃げると、カリフォルニアにあるサンディエゴ海軍基地へ攻めた。テロ集団はゲートを破って、それを防ごうとする軍隊に向けてショットガンやマシンガンで撃って軍隊も機関銃で応戦した。その結果はテロリスト37人と軍隊19人が犠牲となった。残るテロリスト33人のうちから高額な賄賂で雇われた中国空軍の優秀なパイロット9人たちは、戦闘機 F-15 ストライクイーグルの2機と A-18E スーパーホーネットの2機とステルス機のブラックウィドウに乗って、輸送機を操縦士のハン率いるテロリスト25人が乗って動き始めた。イーグルの2機とホーネットの2機とブラックウィドウは低空飛行でミサイル弾を撃って、追ってくる軍隊に弾丸が浴びせた。イーグルの2機とホーネットの2機とブラックウィドウと輸送機は基地から飛び立った。それに急いだ周辺の米軍基地からは攻撃機の A-1 スカイレイダーと A-3 スカイウォーリアーとスカイホークとステルス機 F-117 ナイトホークが出動された。イーグルの2機とホーネットの2機とブラックウィドウと輸送機に向けられた AGM-88 の3台と MGM-18 の2台から迎撃（げいげき）ミサイル8弾が発射された。米軍隊のスカイレイダーとスカイウォーリアーとスカイホークは敵の輸送機の至近距離に近づいてロックオンしたが、前方に飛んでいるイーグルの2機とホーネットの2機が、輸送機を護衛して、輸送機の後ろに回って、ミサイル発射を防いだ。軍隊のスカイレイダーとスカイウォーリアーとスカイホークとナイトホークは作戦を変更して、イーグルの2機とホーネットの2機に向って、4機対4機の空中戦となった。追跡してロックオンしては赤外線誘導ミサイル2弾を発射したがイーグルの2機とホーネットの2機は上手く上昇してかわすと、反転してから米軍隊のスカイレイダーとスカイウォーリアーとスカイホークとナイトホークに赤外線誘導ミサイルの4弾を発射して逃げ惑うスカイレイダーを撃墜した。輸送機とイーグルの2機とホーネットの2機とブラックウィドウに向かった誘導ミサイル1弾をキャッチしたステルス機ブラックウィドウはそれをかわし、右に旋回して、後ろ側に回って、誘導ミサイル1弾をロックオンで撃墜した。イーグルとホーネットは追ってくる誘導ミサイ

ルの2弾を避けたが、イーグルとホーネットの2機は撃墜した。輸送機とイーグルとブラックウィドウに乗る敵の中国系パイロットはプライドをかけてナイトホークと空中戦を繰り返して長い空路を越えてワシントン特別区の付近にたどり着いた。翌朝になって。イーグルが低空飛行に入ったらワシントン特別区にあるリンカーン記念館のリンカーン像を狙って赤外線誘導ミサイルの2弾を発射しようとしたときに焦るナイトホークはイーグルを追っては連射ミサイルを撃って、イーグルは機体に弾丸が当たって、黒煙を巻いてワシントンD.C.にある169mのワシントン記念塔に左の翼を接触して機体を回転させてリンカーン記念館の近くで墜落した。スカイホークがホワイトハウスを狙うブラックウィドウを追っているときに、驚愕（きょうがく）する民衆には構わずにハンのテロ集団が乗る輸送機が国会議事堂の周辺に降り立った。スカイホークに追い詰められて、ブラックウィドウは機体に弾丸が当たって黒煙を巻いて降下して、そのまま真っ正面にあるホワイトハウスの近くで墜落していった。ナイトホークは左に旋回して戻って低空飛行のできない攻撃機は戦闘機となって、さらに散らばっているテロリスト25人に連射ミサイルで攻撃して、テロリスト10人を阻止した。テロリスト15人に上から爆弾を投下してテロ集団13人を阻止した。テロ集団3人のうちの1人がロケットランチャーでロケット弾をナイトホークに目掛けて発射して撃墜した。パイロットはパラシュートで脱出した。テロリスト3人はその場から逃げて内務省BIA本部ビルの中に入って、人質を脅して立てこもって、政府職員の後頭部をショットガンのストックで殴って気絶させた。ハンは内部文書を持って、テロ集団3人を連れてBIA本部ビルから離れて行って、国会議事堂の中を走っていった。ドーム型の天井の下の円形大広間に着いたところでSWATの制服を着たりチャードとチョウとチュウが待ち構えていた。ハンに指示されたテロリスト3人は、武器を下したら素手で戦いを始めた。リチャードはハンが内部文書を持って、政府のところへ走っていくのを見て、チョウとチュウに、「ここは任せた！」と言って、ハンを追った。彫刻ホールに入る直前にアサルトライフル小銃で3発撃ったが命中せず、ハンは彫刻ホールの巨大絵画を貼りつけて壁側の銅像の後ろにこっそり隠れていた。リチャードは彫刻ホールにアサルトライフル小銃を持って入って、ハンが銅像の近くにやってきましたリチャードが持っているアサルトライフル小銃を蹴り飛ばして、鷹爪拳でリチャードの顔を打つや腹蹴りした。リチャードは絶対絶命になり、マーシャルアーツでパンチしたが致命傷を打てずハンに顔を2回打たれて胸と腹を打たれて鷹爪で喉の急所を突かれて倒れ込んだ。テロリスト3人を片づけて駆け付けてきたチョウはハンに、「ガチで勝負しようぜ！」と言った。チュウはハンに、「ここから先は通さないわよ！」と言った。ハンは、「よくも邪魔をしてくれたな」と言った。チョウとチュウは二人がかりでハンに致命傷を与えようとしたが、一瞬で仮面が変化する変面という技に惑わされてハンに腕を払われて打つことができない。チュウが蛇鶴八歩で攻撃を与えても、くたばらないハンは、チュウに3回蹴りして鷹爪で喉の急所を突こうとした。チョウは必殺虎拳でハンの背なを打って、チュウを間一髪で助けたがチュウは倒れ込んだ。チョウとハンは国会議事堂の外へ走って出たらリンカーン記念館の近くの噴水プールのくるぶしが浸かるぐらいの水の中に入って、カンフーを繰り返した。チョウはハンの顔を5回蹴りして、ハンは身柄を隠すために被っていた仮面が半分に割れ落ちた。その素顔はチョウもよく知るサンフランシスコ市長のジョーンズ・リーであった。

リー市長にチャイナタウンで黒人同士が殺し合いの喧嘩をした後でゴミ箱に捨てていった銃を拾ったリー市長の息子は、高校生だった頃にエリート私立高校に入って、過去の似たような拳銃乱射事件を起こして、カナダ人の留学生5人を殺害して、その場で警官に射殺されていた。それは中国系の社会問題であって、サンフランシスコ市長の息子であることは中国系の誇りと秩序のため、暗黙の闇に隠されていた。復讐に満ちたリー市長は反米デモ活動に積極的に取り組み、やがて民主主義のリーダー的な存在となった。怒り狂うリー市長はチョウに、3度蹴りを入れて、顔を2度打って、胸と腹を打って、また鷹爪で喉の急所を突こうとしたが、左腕をつかまれて、身動きできないチョウは右腕で胸を打って、腹を2度打って防いで、両手でリー市長の両目を押し潰して、両腕を解き払うと、両腕で腹を打って、顔を打って、顔を蹴り返して正面から顔を三段蹴りした。リー市長は抗うことなく頭から血を流して、口から血を噴き上げて足下から水に浸って倒れていった。チョウはすぐチュウとリチャードのところに行った。チュウとリチャードはとっくに目覚めて肩を組んで歩いてやってきた。戦いを終えた3日後、チョウはアトランタへ戻って行って、チュウはシアトルへと戻っていった。超高層ビルとバスと市営鉄道とリンカーン記念館とホワイトハウスを含めて銃撃戦の周辺にいた民衆の犠牲者は1034人。ハンのテロ集団は戦闘機をワシントンD.C.へおびきよせたものの、アメリカ政府に内部文書を署名されずに失敗に終わって壊滅した。サンフランシスコのチャイナタウンでリー市長の最後のお別れを追悼する式がいとなまれた。リチャードはワシントン記念塔が見える桜の木の下で、戦いによる傷を癒やして安らぎに微笑んだ。

新たなる野望への出発

TV ニュース番組から報道アナウンサーは、「実況レポーターのルーシーライアンさんお願いします!」と言った。ルーシーは、「はい! ルーシーです! 去年この頃に起きた中国系の過激派テロ集団が米軍基地から乗っ取り、ワシントン D.C. へ向かったホーネットの2機ですが、急接近でやってきたスカイウォーリアーが、標的のホーネットの身代わりとなり、上空に発射された誘導ミサイルに撃墜されました。その後、ホーネットは地上からの迎撃誘導ミサイルで撃墜しましたが、逃げていったもう1機のホーネットも撃墜されていたことが、ペンタゴンアメリカ国防総省本部庁舎内調査でわかりました」と言った。報道アナは、「以上、ニュースを終わります」と伝えた。FBI 連邦捜査局の宿舎でニュースを見ながらアップルパイを食べてロイヤルミルクティーを飲んでいるリチャードはテレビのチャンネルを切り替えた。ドキュメンタリー番組 NASA スペースコロニー移住計画 2023 年を見ていたら第三惑星地球の未来をになう第四惑星火星へ向けた NASA アメリカ航空宇宙局の火星偵察機モニターに映し出された光景にはまだ未知の世界で空気はメタンガスで海がなく地表が岩石でできているらしい。リチャードはテレビのスイッチを切って眠りに就いた。翌朝起きたリチャードは、宿舎から外へ出て行って、ワシントンダレス国際空港からデンバー国際空港まで行った。リチャードはコロラド州デンバーの森の中を歩いて空を見上げたら木洩（こも）れ陽の路（みち）を通り抜けた墓地に着いた。リチャードはロバートの眠る墓の前で、「俺は SWAT 異種格闘技大会を鍛錬の成果で優勝した。ロバートが勇気をくれたお陰で約束を果たせた」と言って悲しみ墓に花を置いて去った。リチャードは墓地から離れて森をぬけてデンバー国際空港に着くと、ぼったりビル・カーターとすれ違って問いかけた。ビルはリチャードに、「久しぶり! ベガスのホテルの金庫に収められた金はどこに行ったんだ?」と聞いた。リチャードは、「それはニューヨーク連邦銀行にすべて預けられた」と答えた。ビルはリチャードに、「それは残念だ! 報酬として、ちょっとだけ金を分けてほしかったな」と言った。リチャードはビルに、「ソフィアとはどうなった?」と聞いた。ビルは、「ソフィアと一緒にデンバー駅から離れてから1週間ぐらいで別れた」と答えた。ビルは問題から逃げたくない。勇気を持っていきたい! 反省の色を示して、それを理解してくれた叔父の家に戻って詐欺師からすっかり足を洗って、自動車整備士となっていた。リチャードはビルに、「またいつか会おう!」と言って、互いに離れていった。リチャードは FBI 連邦捜査局の宿舎に戻って玄関に入ろうとしたときに実況レポーターのルーシーは、「犯罪テロに立ち向かった功績について教えてもらえませんか?」と尋ねられた。この収録がきっかけでリチャードとルーシーの交際が始まって両親の反対を押し切って2年後にゴールインした。リチャードは危険がついて回る SWAT を退職して退任式を終

えた。リチャードとルーシーはロサンゼルス郊外に移住して幸せに暮らした。リチャードは得意なマーシャルアーツ道場を創立させて師範となった。ルーシーの間に息子のスティーブン・ルノーが誕生した。

火星スペースコロニーの探検

20年後、西暦2021年ロサンゼルス（LA）郊外で生活をしてるリチャードは51歳となって、ルーシーは39歳となっていた。長男のスティーブンはすくすくと育って、好感の持てる好青年になった。スティーブンは小さい頃から宇宙の銀河系の彼方に地球とおなじ惑星があると信じて遥かなる宇宙の果てに興味感心を抱いて、宇宙飛行士になっていつか宇宙へ旅立とうとしていた。リチャードはスティーブンをマーシャルアーツの達人にさせて、道場を受け継いでもらうつもりでいた。スティーブンはリチャードに教わった通りにマーシャルアーツの腕とテクニックを学び、子供の頃からマーシャルアーツ大会で賞を獲っていた。しかし、スティーブンはNASA エアナショナルティハイスクールに入学を志願して、リチャードの反対を押し切って、NASAのパイロット養成課程を習得して契約書にサインをした。リチャードはNASA エアナショナルハイスクール宇宙工学科のパイロット育成コースを優秀な成績のために、奨学金の学費と教材を無料で提供してもらって卒業した。最年少19才でNASAパイロットユースに配属されてすぐに仲間と出会った。お調子者でおっちょこちょいなジム・ハートリー20才と喧嘩っばやく野生児のブライアン・ハンサカー21才といつも愛嬌が良くて可愛らしいリリー・ヘイグル19才の4人が選ばれた。スティーブンはジムと仲が良くて反対にブライアンと仲が悪く度々の小競り合いが絶えなかった。火星スペースコロニーはメタンガスを通さない空気清浄プロテクトされた酸素が送られ、太陽光がないため、高熱発電パワーコンデンサを空一面に張り出して発電量を加減して昼は80%上げて夕方は40%下げて夜は0%下げて朝まで充電してる。火星から地球への連絡便がないために火星へ行くと二度とは戻れないという条件で現在1080人が暮らしている。しかし、海がないために湖から給水ポンプで水源地へ運ばれ、ろ過された水道水が生活に使われている。だが水不足のため十分でないことが原因で偵察中の火星偵察機が湖を探しているところに怪しい影を映し出した。3日後、火星偵察機は破壊された。スティーブンがキャプテンに託されたユースの4人に初の任務が入った。NASAの火星探査機オポチュニティ4号から見た火星は地球の3分の1らしいの大きさで火星から見える月はフォボスとダイモスの二つが火星の周りを軌道している。火星から見た空は赤くて太陽は塵とメタン現象で青くて太陽系の中で一番高いオリンポス山がある。ユースの4人はスペースシャトルに乗り込んで配置に着いた。”5・4・3・2・1”発射台からスペースシャトルは轟音を響かせて飛び立った。空中でブースターを解き放して、上空の彼方へと昇っていく。長い時間の中でスペースシャトルに乗るユースの4人は火星にたどり着いた。ユースの4人は岩石の地帯に降り立った。ユースの4人は火星偵察機が破壊された地点に向けて歩いていった。ユースの4人はNASA火星基地から護身のためにレーザーガンを受け取って、

探査車キュリオシティを走らせていった。探査車を走行させて、シャープ山を通過して目標地点にたどり着いた。そこには何者かに粉々された火星偵察機が燃えつきていた。見たところ辺りには火星生命体と思われる足跡はなかった。突然とユースの4人の背後に直径25 cmのクモ型火星寄生虫のジークの4匹が襲いかかってきた。ユースの4人はレーザーガンで撃って、ジークの3匹を仕留めたが、残ったジークの1匹はなかなか仕留められずにいた。その時、ジークの1匹がブライアンのメットに張り付いて、メットを突き破って、ブライアンの鼻と口を塞いで窒息させた。倒れたブライアンの口の中へ入っていった。ジークの1匹が住みついたブライアンは目が赤くなって、立ち上がると、ユースの3人を襲ってきた。ユースの3人は止む終えず襲い迫るブライアンをレーザーガンで撃ってブライアンは倒れ込んだ。ブライアンの腹からジークの1匹が白い宇宙着を突き破って出てきた。ユースの3人は走り回っているその1匹を仕留めた。ユースの3人は火星基地に戻るために探査車に乗って、走行中に空を見上げれば青い太陽が不思議なことに小さい月のフォボスと重なったため、青い太陽の光を遮断されてちょっとした月食が起きていた。突如と何者かに火星探査機を破壊された。その後、謎の宇宙船が現われて、宇宙船から宇宙飛行隊3機が飛び立った。そして、ユースの3人が乗る探査車に攻撃してきた。スティーブンは運転している探査車を高速で走らせて攻撃をくぐり抜けた。目の前にクレーターが見えてきたのでクレーターへ探査車ごとユースの3人は飛び込むと探査車から飛び降りた。クレーターが湖だと予期してなかったユースの3人は探査車が湖の底に沈んで動けなくなった。ユースの3人が空を見上げると、宇宙飛行隊の3機はどこかに行って、宇宙船は姿を消していた。ユースの3人のうちの1人が火星基地に連絡して助けを呼んだ。間もなく救助されたユースの3人は火星スペースコロニーに入り、マーズタウンから離れて、栄えた18番街の向こうにある火星水道局で湖のことを調査報告した。任務を終了したユースの3人は、火星スペースコロニーから外へ出て行って、スペースシャトルに乗り込んでいった。発射直前で大きな揺れが起きた。すぐにオリンポス山の噴火かなと思ったスティーブンはシャトルから外へ出て見て様子を窺った。スティーブンは辺りを見渡すと、パピュラス星人が乗る宇宙船ヰイスターから宇宙飛行隊ヰイスターの3機が火星スペースコロニーを攻撃していた。逃げ惑う住民のいる18番街を容赦なく破壊していった。慌ててスティーブンはシャトルに戻って急いでシャトルを発射させて地球へ向かった。スティーブンはブースのシャトルドアを開けたままにしていたため、シャトルにジークの3匹が紛れ込んで壁に張り付いていた。シャトルは地球に段々と近づいていった。アメリカ大陸に向かって行って、サンディエゴ空軍基地にパラシュートを開いてシャトルが無事に着陸した。

嘆きの報復

シャトル着陸後、足を開いた状態の変な格好で座っていたユースの3人は、記者会見を火星スペースコロニーにパピュラス星人が来襲したという出来事をつぶさに報告した。民衆たちは、「火星の次は地球侵略が起きる」と騒いで恐怖と不安を抱いた。NASAに戻ったユースの3人と局員一同は同僚だったブライアンの告別式をした。今の問題は火星スペースコロニーが悲劇的な状況にあるということだけである。NASAの大型モニターにノイズのかかる電波信号が発信された。宇宙船ヰイスターからピトゴラス卿と名のるひよろ長いトカゲのような宇宙人が大型モニターに現れた。通称ピト卿とコンタクトすることができたブラウン局長はピト卿に、「何が狙いだ？」と聞いた。ピト卿は、「地球の資源を提供するなら攻撃は避けよう」と答えた。ブラウン局長は、「大切な資源を提供するなど、とてもできない！」と訴えた。ピト卿は、「火星スペースコロニーの悲劇を繰り返したいのか？地球の平和を守りたいなら、言われた通りにするだけだ」と言った。大型モニターはノイズがかかって、途切れた。3日後、ゴォーと音が鳴ると人々が見上げたときに空高い雲の中からヰイスターが姿を現した。そして、テキサス州ヒューストンの競技場に段々とヰイスターが舞い降りた。ピト卿は反論したブラウン局長に、「最後に我々の要求の答えを聞こうじゃないか？」と聞いた。ブラウン局長は何も答えないままだった。ピト卿は攻撃を開始させた。ヰイスターの3機とグレッズリーの2機がロサンゼルスへと向けて発進した。シャトルの中には整備点検のためにエンジニアの3人が入って、長い間、整備しているとジークの3匹が飛びついて、鼻と口を塞いで窒息させて倒れ込んで口の中に入って寄生していった。目覚めたエンジニアの3人は目玉を赤くして、局員に襲いかかり、寄生したジークが口から口へ移っていった。ジークが寄生した局員はNASAから外へ出ると、街を行く民衆に次々と襲いかかって、腹の中でジークを寄生させて繁殖していった。暴徒となったジーク感染者たちはヒューマンレッドアイズ（HRE）と呼ばれるようになっていた。HREの5人はLA郊外に佇むリチャードの家までやってきた。リチャードは倉庫に隠してあるガトリング銃を持ち出して、窓にへばりついたHREの2人を撃ち殺して、玄関に入ろうとしたHREの3人も撃ち殺した。街で集結したジークバスターズはどう猛なHREに向けて、火炎放射器を使って、火あぶりにした。民衆たちは、「わーっ！やつらがやってきた！」と騒いだ。ヰイスター3機はLAの超高層ビルを攻撃して次々と破壊していった。グレッズリー2機はLA高級街に破壊力のある爆弾を落とした。LAの街は壊滅状態となった。ユースの3人はジークバスターズと手を組んでHREたちに攻撃を始めた。ユースの3人はレーザーガンで撃ちまくって、ジークバスターズは火炎放射器を放って、姿も残さず全滅させた。ヰイスターから輸送機タンバリンが地上に降り立った。タンバリンからパピュラス星人73人が

出てきた。パピュラス星人はレーザー光線銃を使って、ジークバスターズを3分の1に減らした。ジークバスターズは火炎放射器を使って、パピュラス星人を4分1に減らした。ジークバスターズは2メートルはあるパピュラス星人に囚われると、素手で首の骨を折られて、圧倒的な不利だった。NASAは衛星ミサイルを浮遊しているピースターの2機とグレズリーの2機に向けて発射した。一寸のズレもないぐらいにミサイル弾が命中した。NASAから出てきたユースの3人は、車でツイスターのところまで行った。ツイスターに着いたユースの3人はツイスターの入口が見つからずどうすればいいかわからないままだった。突然とユースの3人の前にパピュラス星人の男の子が現れて、「おまえらここで何をしている？」と聞きながら、レーザー光線銃を向けてきた。ユースの3人は反対に、「ツイスターの入口はどこにある？」と聞いて、レーザーガンに向けた。そのとき、ジムに背後から長い爪が突き刺さって腹を突き抜けたジムは倒れ込んだ。スティーブンとリリーはパピュラス星人の男の子をレーザーガンで撃った。人間のようなパピュラスの女のゼジルが現れて、「ピューゴ！」と呼び、倒れ込んだパピュラス星人の男の子を抱いていた。怒り出したゼジルをスティーブンは、「ジムの仇だ！」と言って、レーザーガンに向けた。スティーブンが撃つのをやめると、ゼジルはサファイアのネックレスをはずして、「ツイスターに入るには青いサファイアを強く光るところにあてる」と言って、青いサファイアをスティーブンに手渡して、「私はゼジルです。中にいるピャーナって女の子を助けてやってくれ！」と言った。スティーブンとリリーはツイスター周辺を探って、強く光るところにあるノブを下げて入口を開いた。そしてピャーナのところをめざした。迷路のような通路を走ってきたスティーブンとリリーは後ろ向きで座っているピト卿らしき者と遭遇した。冷酷なピト卿は立ち上がって、ユースの2人が向けたレーザーガンを奪って、リリーを捕らえて、レーザー光線銃をリリーの首に突き付けた。手の出しようがないスティーブンの側にピャーナがやってきた。スティーブンはピャーナを捕らえて、ピャーナの首にナイフを付けた。ピト卿はスティーブンに、「どうしてここに入ってこれた？」と聞いた。スティーブンは、「ゼジルからサファイアのネックレスを頂いた」と答えたピト卿はスティーブンに、「ゼジルとピューゴはどうなった？」と聞いた。スティーブンは、「ピャーナを助けてやってくれと頼まれたが、子供に仲間を殺されたんで二人とも殺した」と嘘をついた。ピト卿は、「よくも妻と子供たちを！」と言って、スティーブンにレーザー光線銃を向けて、「だがピャーナは俺の子ではない！」と言って、レーザー光線銃で撃とうとしてきた。スティーブンがピト卿の背後にひっそりと入り込むリチャードの姿が見えた。リチャードはスティーブンとリリーに合図して、「伏せろ！ スティーブン！」と言って、スティーブンはリリーをつかんで床に伏せたとき、ガトリング銃をピト卿の脳天を撃ち碎いた。あえなくピト卿は倒れていった。スティーブンはリリーを抱きとめた後でリチャードに、「ありがとう！ よくここに入ってこれたな？」と聞いた。リチャードは、「入口が開いていたからだ！」と答えた。リチャードとスティーブンの親子の絆が戻った。リチャードがピャーナに銃を向けると、スティーブンはリチャードに、「ピャーナは殺さないでくれ！ ゼジルとの約束がある」と言った。リチャードは、「殺さない！ ピャーナは子供のようにだったんで長身のピト卿の頭だけを狙ったさ」と言った。スティーブンはツイスターの心臓部のコアエナジーを探して見つけ出した。コアエナジーに時限爆弾を3個設置した。リチャードと

スティーブンとリリーとピャーナはヰイスターから脱出して車を走らせていった。15分後、ヰイスターはコアエナジーを破壊されて大爆発した。リリーとピャーナを車から安全な場所に降ろして、ルノーとスティーブンはLAで戦っているジークバスターズのところへ車で向かった。戦場に着いたリチャードとスティーブンはパピュラス星人をガトリング銃とレーザーガンで撃ちまくった。迫ってくるパピュラス星人のレーザー光線銃を奪って、撃ちまくったスティーブンはパピュラス星人を2分の1に減らした。ジークバスターズは火炎放射器を放って、残るパピュラス星人を殲滅（せんめつ）させた。NASAは火星スペースコロニー再建のためのバリケードを張って、今後の対策を考案した。壮大な戦いが終わり、国民の勝利となった。勇敢なスティーブンは民衆に囲まれて、英雄となった。リチャードはスティーブんに、「よくやったな!」と言った。スティーブンは、「やったぜ!」と言った。スティーブンはNASAでジムの告別式に出た。そろそろ、地上から天まで伸びる塔の宇宙エレベーターが完成されるだろう。しかし、HREは生き残っていた。END

奥付

奥付

Dirty guys

../../../../book/104287

著者：八島 聖彦

著者プロフィール：../../../../users/nagisa825/profile

感想はこちらのコメントへ

../../../../book/104287

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/104287>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<https://puboo.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ

Dirty Guys

著 八島 聖彦

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
